



青空文庫 (5) 「蟹工船」 (5) 小林多喜二

見ながら練習

なぞって練習


えドしこの剥す響時  
 た臼てろ牛げぐこい々  
 外又いかのた手の前蟹て波  
 人・たら鼻帆前蟹きをを  
 がパイ、、穴船に王た伝  
 イ甲板のよ、ペ船。っ  
 プ板のようへン博て  
 をを鎖うへン光直  
 く、をなさキ丸接  
 わマ下とさきののに

※ふりがな： 青空文庫の文中ふりがな  
 ・直接：じか  
 ・錨：いかり